

J R 東日本労働組合

NAGANO

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2020年 8月 7日 No. 373
JR東日本労働組合
長野地方本部
発行者：臼井幸一
編集：情宣部

J R 東日本

第1四半期決算初の赤字に！

JR東日本として「第1四半期決算」が初の「赤字」でした。

(単位：億円)

		第1四半期累計 (4月1日～6月30日)			
		2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績	2020年-2019年
単 体	営業収益	5,134	5,255	2,313	△2,942
	うち運輸収入	4,519	4,631	1,802	△2,829
	営業利益	1,202	1,215	△1,470	△2,686
	経常利益	1,197	1,238	△1,478	△2,716
	四半期(当期)純利益	863	912	△1,060	△1,973
連 結	営業収益	7,118	7,423	3,329	△4,094
	営業利益	1,386	1,446	△1,783	△3,229
	経常利益	1,271	1,327	△1,975	△3,302
	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	862	915	△1,553	△2,469

この間社長や常務からは「利用状況による運賃体系の見直し」「始発や終電の繰り下げや繰り上げ」「役員報酬の10%自主返上」などが言われています。

今後コスト削減に向けて様々な施策が打ち出されてくると思われます。先日本部・本社間で「休業指示に係る就業規則等の改正について」の団体交渉を行いました。社員の生活に直結する「休業」について、不明確・不確定なままにできない事から細部について提案内容を解明するための「第二次申し入れ」を提出しています。

「休業」について職場での議論を深めていくとともに、乗務員職場での寝具類の交換を自らが行う事案や駅職場での作業ダイヤの変更など、コロナ感染対策や経費節減対策を理由にした施策が数多く実施されています。その対策すべてが本当に必要で、対策として意味を成しているのかを私たちがチェックしていかなければなりません。

会社をチェックし、組合員・社員の利益・雇用を守ることは「社友会」ではなく、「労働組合」にしか出来ません！いまこそ「東日本ユニオン」に加入して一緒に活動しませんか？

東日本ユニオンで組合員・社員の利益・雇用を守っていこう！